

ケット上段の不具合によりすべての衛星の軌道投入に失敗した³⁹⁰。同社は2回連続で打上げに失敗した。

³⁹⁰ 12月17日、百度、朱雀二号火箭发射失败，中国版 SpaceX 遭重挫，马斯克早就有言在先

第4章 無人航空機（無操縦者航空機）

EMSA では欧州の沿岸調査隊等での利用に向けて、遠隔操縦者航空機システム（Remotely Piloted Aircraft Systems : RPAS）の開発、支援も実施している。RPASは3種の機体が用意されており、AIS 受信機、可視/赤外カメラ、油検出のための IR（赤外）センサやレーダ等が利用可能、現在の航続時間は6~8時間となっている。（図4-1）

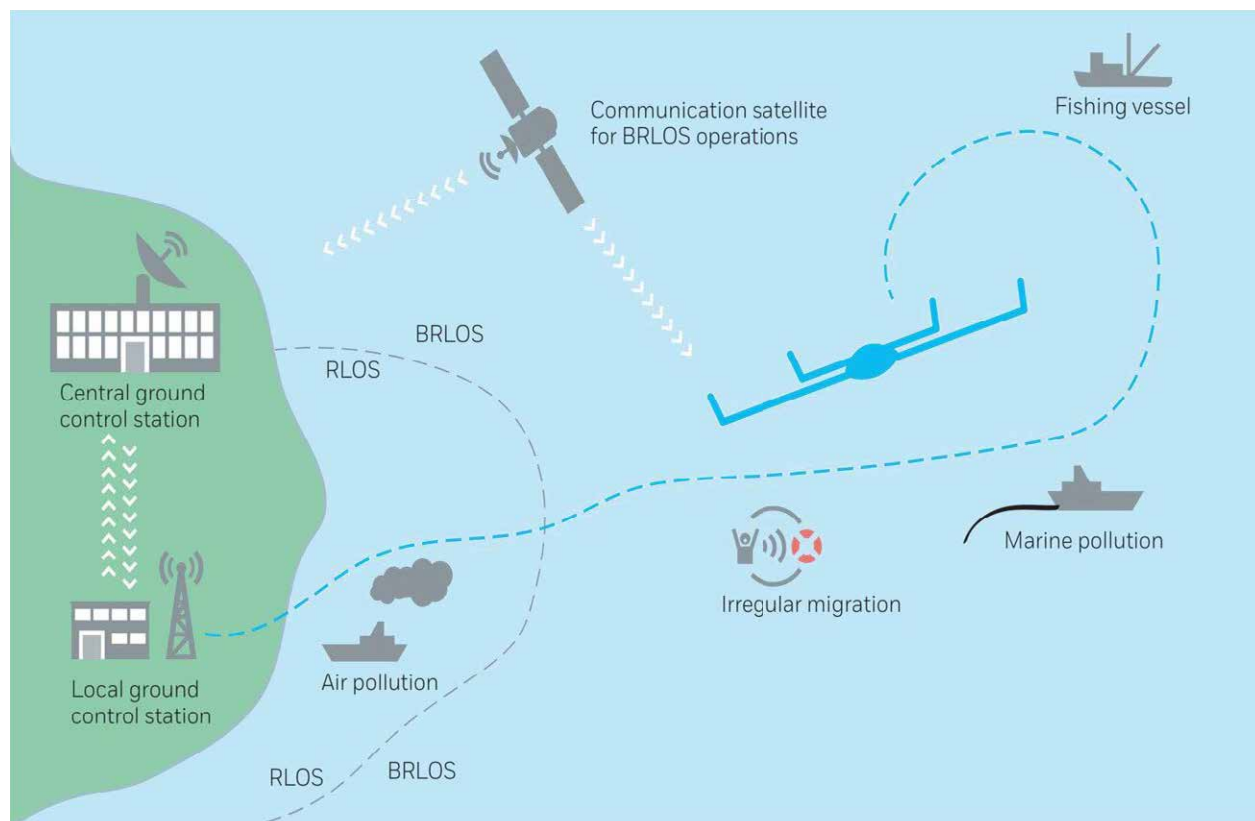


図4-1 欧州 EMSA による海上監視用 RPAS の運用イメージ³⁹¹

無人航空機は農薬散布や空撮等の分野で既に国内においても実用化されているが、近年ではウクライナ侵攻などの軍事用途での活用も増加している。また、今後は災害監視などの公的利用や、インフラ点検、物資輸送などの新たな産業での活用が期待されている。

(1) ウクライナ侵攻における無人航空機活用状況調査

ウクライナ侵攻において無人航空機は、情報収集任務だけでなく攻撃任務にも活用されている。一般財団法人防衛技術協会による記事³⁹²の内容を紹介する。

ウクライナ開発機材 「PD-1」「R-18 オクトコプター」「Punisher」。

ウクライナで開発された3種類の機体についてスペックや用途を図4-2に示す。

³⁹¹ European Maritime Safety Agency. *Remotely Piloted Aircraft Systems Services (RPAS)*. Retrieved from <http://www.emsa.europa.eu/we-do/surveillance/rpas.html>

³⁹² https://www.defense-tech.or.jp/journal/docs/202302_1.pdf